

のり海況速報 第4報 (22-4)

平成22年11月5日発行
千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 (11/2-3 : 東京湾全域)
関東・東海海況速報 (11/2) , 東京湾口海況図(11/4)

ノリ養殖場水温予報について

県内の各ノリ養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について, 5日先まで表層の水温を予報するシステムを開発いたしました。下記にて水温予報を公開していますので, ご活用下さい。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html

【水温・塩分の状況】

表面水温(図1, 2)は先週半ばごろからの気温の低下とともに降下し, 内湾から内房北部ではほぼ18~19℃台までになっています。

塩分は, 台風14号の通過に伴う大雨(木更津: 188mm, 横浜: 159mm)によって内湾中央部から南部でかなりの低塩分状態となっています。

一方, 湾口部には水温23℃台の暖水塊が金谷付近までみられています。これは黒潮の一部が湾口部に流入しているためで, 今後の動きには注意が必要です。

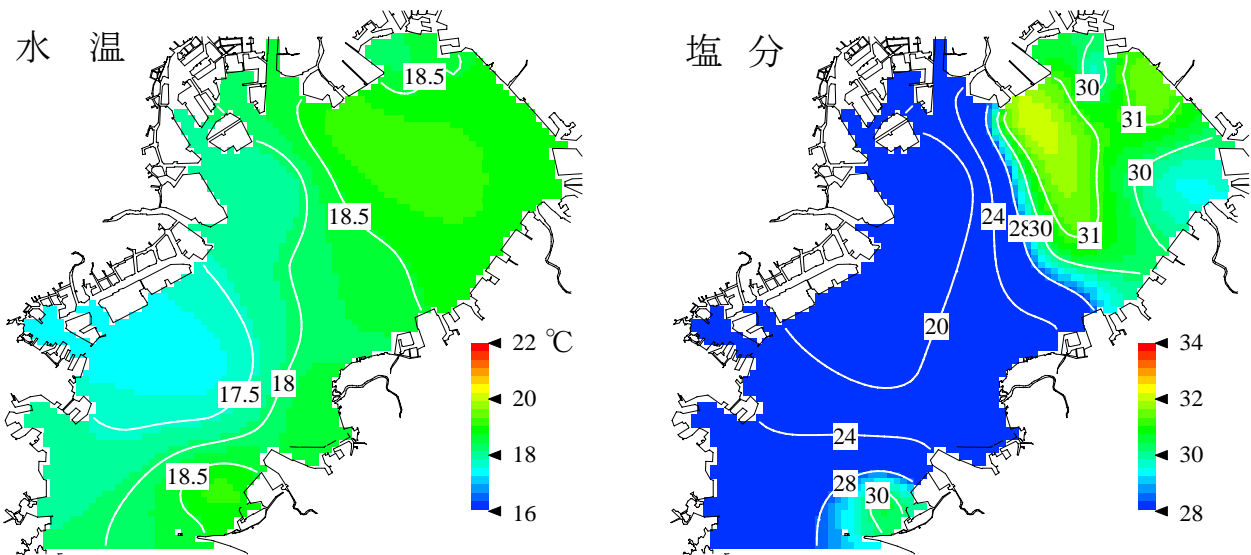


図1 表層の水温・塩分分布 (内湾 : 平成22年11月2日)

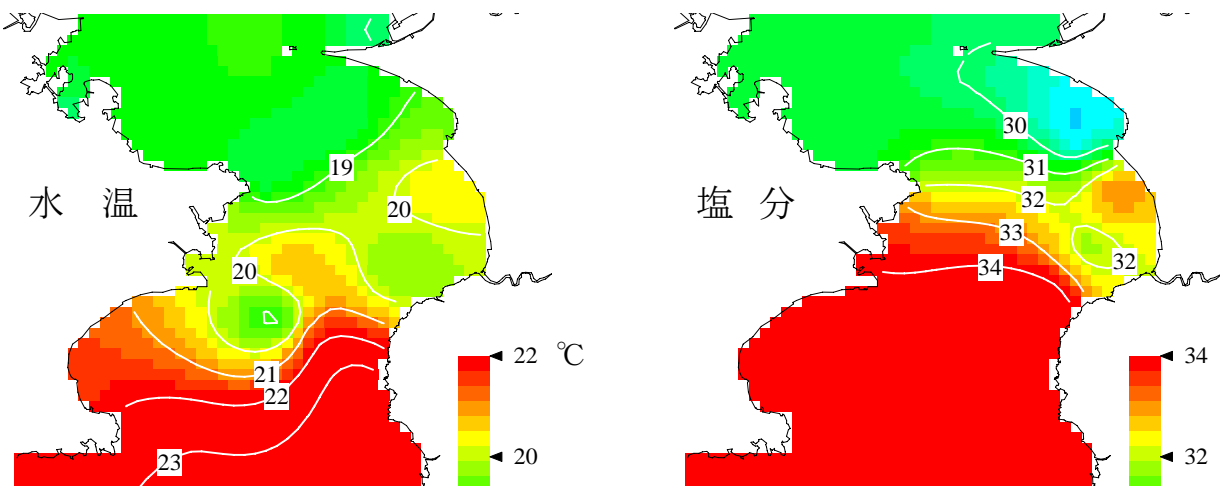


図2 表層の水温・塩分分布 (内房北部海域 : 平成22年11月3日)

【赤潮・栄養塩の状況】

10月中旬ごろまで断続的に発生していた赤潮は下旬ごろに終息し、現在は内湾、内房北部海域とも発生していません。プランクトンもかなり少なくなっており、ケイ藻のキートケロス(*Ceratoceros* sp.)とタラシオシラ(*Thalassiosira* sp.)がみられる程度でした。

表層の栄養塩(図3、4)は溶存無機態窒素・リン酸態リンとも全域で多くなっており、現在のところノリ養殖にとって問題ない量となっています。

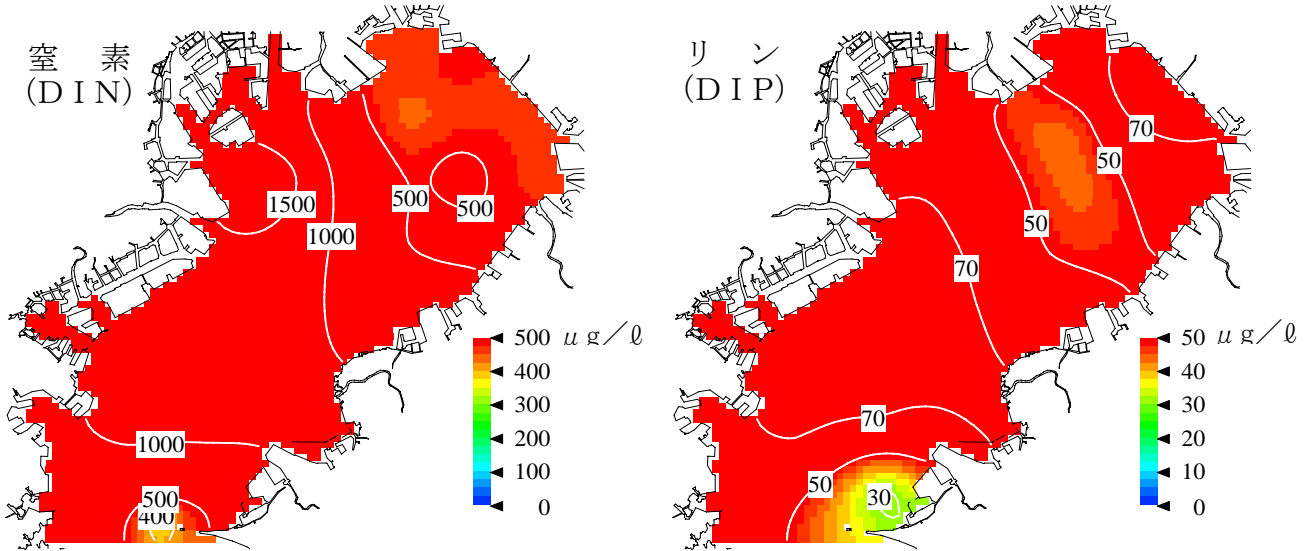


図3 表層の栄養塩濃度の分布 (内湾 : 平成22年11月2日)

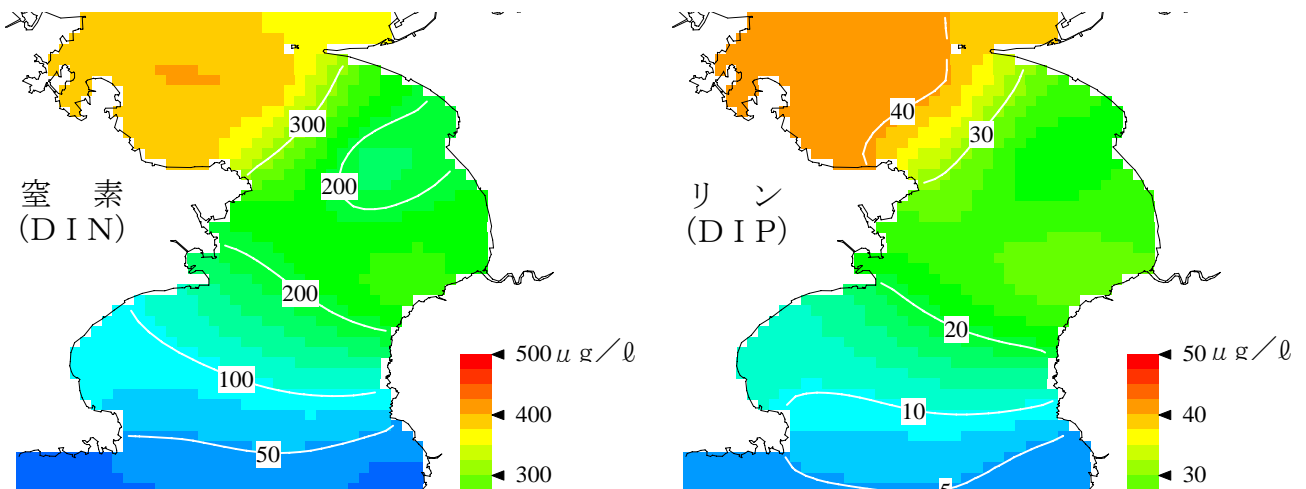


図4 表層の栄養塩濃度の分布 (内房北部海域 : 平成22年11月3日)